

社会福祉法人育桜福祉会 障害者支援施設 桜の風

地域連携推進会議 議事録（公表）

以下の通り、地域連携推進会議を開催いたしましたので公表します。

開催日時	令和8年2月18日（水） 10時00分より12時00分まで	
会場	障害者支援施設 桜の風 会議室	
運営事務局 （5名）	桜の風 総合施設長	
	桜の風 施設長	
	桜の風 サービス管理責任者	
	陽光ホーム 施設長	
	陽光ホーム サービス管理責任者	
参加者 （6名）	役割	立場
	入居者を代表する者	利用者 A（入所）
	入居者を代表する者	利用者 B（グループホーム）
	利用者家族	利用者 C 家族
	地域の関係者	環境保全団体 会長
	地域の関係者	環境保全団体 会員
	障害福祉に知見のある者	通所生活介護事業所 施設長
欠席者 （3名）	行政担当者	中原区地域みまもり支援センター 障害者支援係 係長
	行政担当者	中原区地域みまもり支援センター 精神保健係 係長
	桜の風	施設長補佐
議事内容		
<p>1 開会の挨拶（趣旨説明）</p> <p>初めに運営事務局より定刻で開会が宣言され、総合施設長より入所施設は障害のある方の住まいとして日々の生活を支援している。ひとつの建物で完結することが多く、閉鎖性や密室性により、障害者虐待が起きやすい構造にあることも指摘されている。入所施設の生活の様子を地域の方に紹介することで開かれた事業所運営を目指していきたい旨の趣旨説明が行われた。</p> <p>2 自己紹介</p> <p>運営事務局及び参加者が各自自己紹介を行い、総合施設長よりそれぞれの立場・役割についての説明が補足された。</p>		

3 事業説明

施設長より利用者が本人の望む暮らしを実現するために地域で活動している様子を報告している。本人の力を発揮しながら必要なサポートを受けることで病院やコンビニエンスストア等の資源を本人のペースで利用していることやその希望に向けた練習としてのプログラム、七夕等のイベントに必要なものや畑作業をきっかけとした環境保全団体との交流等、利用者が日常生活で利用している資源、地域移行状況を知っていただくことで、身近にいることを感じていただく機会とした。

4 事業所見学

サービス管理責任者が事業所内を案内し参加者に見学していただいた。利用者 Aからは普段の生活で楽しみにしていることや作業等を頑張っているとの説明があった。

5 質疑応答

環境保全団体の会員より、地域移行されてから団体に個人加入された方がいる。地域に移行してからもつながりが出たことは、これまで関わってきたことが結果として出たことでうれしい。また、利用者 Aがウォーキング中に挨拶をしてくれることもうれしい。私たちからも畑作業等で交流していこうと思うが、どのように関りを作っていけるのかはよくわからない。団体が管理している広場がウォーキングコースの途中にあるため、活用してくれると、利用者の様子が少しでもわかるためうれしいとの提案がある。

知っていただくきっかけを広場や畑作業等で作っていける方法を相談していききたいと返答された。

利用者 C 家族より地域移行先に高齢施設がある理由を質問される。事業所内での活動が本人にとって体力的に不安を感じる、身体状況の変化でより医療面での安心が欲しいといった本人の気持ちや状態を見ながら、その方に合う行先を見つけていった。その結果が高齢施設であったと説明された。

通所生活介護事業所施設長より近年生活介護事業所家族から入所施設を検討しているという声が多くなっている。今回の報告を聞いて知ることが多くあり、入所施設を検討する家族に情報提供ができるよう、近隣施設同士で季節行事等のイベントでつながりを作り、もっと知っていければと感じたとの意見が出ている。

環境保全団体との関りが共通のつながりでもあるので、この状況を活用して交流を増やすきっかけとしていきたいと返答される。

6 閉会挨拶

総合施設長より、貴重な意見交換になったことの感謝を述べ、定刻で閉会した。